

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	4	0		室内で運動できる空間を提供している。外に出る機会は、公園等への外出で補っている。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	7	1	・専門性があまりないと思う ・専門性はあると思う	療育を行うため運動保育士や教員、保育士・強度行動障害支援者養成研修修了者などの資格者を配置している。	
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	7	0		障害特性に応じ、自立を促す補助を適切に行っています。また、バリアフリーの観点では事業所内に段差を作らない等の工夫をしています。	
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス計画が作成されているか	23	1	0	・計画書を作る段階で発達障害の子はわからないと言われた	定期的な面談の実施。児童発達管理責任者が、本人・保護者のニーズや課題を分析し、作成している。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	6	0		毎月作成された柳沢運動プログラムを採用し楽しく効果的に身体を動かしている	
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	12	9	・コロナの事があるので今はできなくてもしょうがない ・報告がないのでわからない	定期的に公園等にて、健全者の子ども達とも交流している。	
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1	1	・しっかりした説明があったので安心して子供をあずけられる	契約時、不都合な点がないか入念に確認し、利用して頂いている。	
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	2	・フィードバックは足りないと感じる。 ・ノートの内容もほぼ毎回同じ。	日頃の様子は、保護者との連絡帳にてやり取りしている。定期的な面談も実施し、共通理解を深めている。	
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1	1	・面談もしっかりやっていたら助かります ・普段助言はない	定期面談時はもちろん、家族に対しても密に連絡を取り合い、支援を行っている。	
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	10	14	・コロナなので仕方ない ・コロナの事があるので今はできなくてもしょうがない ・保護者会があることすら知らない	現在、父母の会・保護者会の開催予定はありません。同学校や施設から利用している児童もあり、必要に応じ保護者間の連携が取れるよう都度情報共有を行い連携の支援をしています。	
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	11	0	・苦情を入れた事がないのでわからない	相談や申し入れがあった場合は、即日解決を目指し、対応している。	
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	6	1		年齢や障害の重さにより、言葉の理解が難しい児童は、絵などで対応することもある。保護者とは言葉だけでなく、文章でやりとりもしている。	
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	13	1		定期的に、子どもプラスの月間プログラムを配布している。自己評価の結果や活動の内容等は、ホームページ上にて、公開している。	
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	20	3	0		個人情報を取り扱う書庫には、鍵がかかっている。不要な個人情報が記載されている書類は、シュレッダー等で裁断処理している。データ等持ち出しを禁じている。	
	非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	4	0		連絡帳などで報告をしている。 職員や保護者がより認知しやすくするためマニュアルの発信方法を今後意識していく。
		⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	15	0		消防へ報告している。避難訓練を実施する際は、避難後に公園等で遊ぶため、児童にとっても楽しめるイベントになっている。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	15	5	0	・会いたい友達や先生がいなかったり、楽しくなかったと言ってるけど、内心は楽しんでいると思う ・通う事を楽しみにしている、安心し	毎回、児童が楽しめるよう、プログラムを組んでいる。運動療育がメインだが、創作活動などのレクリエーションにも力を入れている。	
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	17	3	0		時期により、児童数が多くなってしまうタイミングもある。運動療育等の支援内容にこだわり支援を実施している。	

i 放課後等サービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等サービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。